

糸魚川・相撲を推す会 ぞすこい部屋

PRへTシャツ制作

メインサポーター4社へ額に収め寄贈

糸魚川の相撲ファン「ぞすこい部屋」は、市をつなぐ任意団体「糸魚川・相撲を推す会」の名称やロゴを入れた

Tシャツを制作した。地域の県立海洋高相撲部生徒ら関係者が着用してPRにつなげていく。

て作った。

「メインサポーター」は4社で、各社へTシャツを額に収めて寄贈。このうち、同市能生の笠原建設（鈴木秀城社長）へ12日、同校相撲部の代表生徒2人

と同後援会理事らが訪問して届けた。生徒は「支援をいただき、より良い環境で稽古や大会に臨むことができて部員一同感謝している。少しでも地域に恩返しができるよう、いい結果を出せるように精進していきます」と額入りTシャツを手渡した。鈴木社長は「皆さんの頑張る姿に勇気づけられる。地域に夢を与えてくれる。頑張つて」と激励し、受け取った。



メインサポーターの1社、笠原建設へTシャツ額を寄贈。海洋高相撲部員と相撲のまち糸魚川後援会の米田徹理事長、黒石孝理事が同社を訪れて鈴木社長（右）に手渡した

「ぞすこい部屋」はプロ、アマ問わず糸魚川の相撲を応援するファンコミュニティの場として発足し、SNSを通じた情報発信などを中心に活動を展開している。NPO法人「相撲のまち糸魚川後援会」と協力団体の関係にあり、令和7年度に企業向けのサポーター制度で受け付けた寄付金に対して、3万円以上の企業名をTシャツに掲載。30万円以上の「メインサポーター」企業はそれぞれロゴも併せて前面や袖に載せ

